

今日は「ざっくり黙示録」の 10 章ですが、やっぱりね、アメリカ大統領選挙ですよ。今日は 12 月 10 日。本来のスケジュールなら、12 月 8 日に選挙人が正式に確定します。すなわち、2 日前に選挙人が確定して、どちらか一方が 270 人を確保してたらいいわけですね。そして 4 日後の 12 月 14 日に選挙人による投票があって、そこで決まるはずだったのですが、まだ選挙人が確定されてません。まだバイデンと決まったわけではない。トランプに決まったわけでもない。

アメリカ大統領選挙は、一方が敗北宣言をして、それを受けてもう一方が勝利宣言するということになってるんです。ところが、トランプ大統領は未だに敗北宣言をしないんですね。それは往生際が悪いのではなく、あまりにも組織的・悪質な不正選挙があったということで、ここで何も言わなければ、2 年後の中間選挙でまた不正選挙があり、4 年後の大統領選挙でもっと深刻な不正が起こりかねない。だから我々は不正を黙って見過ごすわけにはいかないんだ！と今抵抗しているのです。私も色々見ながら、無理ないなと思います。

皆さんは最初に経験する民主主義というか、投票って何でしたか？

私の場合は小学校の学級委員を決めるとき。初めて投票というものをしました。私の親世代は、小学校の学級委員は勉強出来る子になったんです。私らの時はオモロイ奴になる。だから、学級委員の投票は M-1 グランプリに似ているところがあって、1 番オモロイ奴が選ばれるということで、毎回優勝させていたわいたわけ。勉強の方ではなくて優勝した感じ。

1 クラス 40 人。1 等 高原君 25 票。2 等 田中君 20 票。合計 45 票。

生徒数が 40 人なのに 45 票集まったら、それまずくないですか？その 5 票はどこから紛れ込んだのか？という話になりますよね。11 月 24 日にトランプ大統領がツイッターに投稿しています。

「有権者の数より投票者の数が多いって、おかしくないの？」

そういう州が 5 つあるんです。これらは全部激戦州で、特にペンシルベニア州は 1 州で選挙人が 20 人取れるのですが、なんと、実際に集まった票が郵便投票の票よりも 112 万 7 千票多い。

ペンシルベニア州のバイデンとトランプの得票差は 5 万 9 千票。だけど、どこから紛れ込んだのか、112 万 7 千票がザーッと流れ込んで来たら、こんなものはおかしいじゃないか！ということで。

そして、投票率が 100%を超える州が 5 つあるって。全員が投票して 100%。全員が投票するって、あり得ないですよ。ネバダ州なんか投票率 125%ですよ。その 25%、どっから来たん？

アメリカの民主主義研究所のパトリック・バッシュムという所長が色々論文を書いています。

アメリカ大統領の中で再選を狙った大統領は、当選したとしても初選の時よりも票を落とすんです。

最初の 4 年間様子見て、「キャンペーン中は良いことをいっぱい言ってるけど、やってみたら、それほどでもないわな。」それで、2 回目に挑んだ時は前回よりも票を落とす。というのが通例だそうです。

しかし、トランプ大統領は 2016 年の選挙の時より 1100 万票増やしてる。歴代アメリカ大統領の中で、1 番たくさん取っている人ですよ。

オバマ大統領は 2012 年に再選チャレンジして当選しましたが、1 回目より 350 万票も落としてます。ただ通っている。1 回目よりもはるかに票を上げて、しかも落選した大統領は、アメリカ史上 1 人もいません。だけど、トランプ大統領は落ちた。「なぜだ？」と彼は言うんです。

それから、特にトランプ票が目立ったのは、黒人票が前回よりも 50%上がっている。バイデンさんは今までの民主党候補で落ちた人よりも黒人票が低い。

決定的なのは、今回の大統領選挙は大統領だけでなく、上院・下院・州の議会選挙をやるんです。上院で共和党は 1 議席も落としてない。保持しました。下院は争っていた 27 議席全部共和党が取った。そして州の議会選挙では、共和党は 1 議席も減らしてないんです。つまり、上院も下院も州の議会選挙も共和党が 3 連勝した。なのに、共和党の党首であるトランプは大統領選挙に負けた。こんな不思議なことがあるだろうか?! と彼は言うんですね。

今ネットを賑わせているのは、テキサス州の司法長官が遂に連邦最高裁にこれを訴えていて、17 州がそれに乗っかっているとされています。

ペンシルベニア州の郵便投票の場合、4 つの条件を満たさないと駄目なんです。

①署名があること。封筒に名前が書いてないものはアカン。

普通私たちは、例えば都構想の時でも、自分の名前を書きませんよね。無記名で秘密投票ですよ。だけど郵便投票の場合は、封筒にちゃんと差出人の名前を書かないと駄目です。

署名の無い封筒は受け取ったらアカン。

②署名があっても、事前登録のサインと一致しないものはアカン。他の人が代筆したかもしれないから。

③消印の無いものはアカン。郵便局じゃなくて勝手にバサッと持ち込んだら駄目なので消印必要。

④投票日当日までに到着しないと駄目。投票日過ぎて到着したものは駄目。

全部当たり前のことですよ。ところがペンシルベニア州は、14 カ月前にこの 4 つを全部 OK にした。「サインがあってもなくてもオッケー。消印あってもなくてもオッケー。投票日過ぎて到着したのも全部勘定に入れます。」これは、ペンシルベニア州の憲法に則ると憲法違反です。そこで、これをやってもいいとするために、14 カ月前に州議会が可決して知事が OK を出しました。

しかし、選挙ルールを変えるには憲法改正しないと駄目です。憲法改正には、州の上院の過半数の賛成を 2 度取らないと駄目なんですって。2 度取った上で、州の住民全員の住民投票で過半数取らないと憲法改正出来ません。これ、やってないんですよ。やってなくてルールを変えて、その結果行った選挙でバイデンが勝ったと言っているわけです。

これは憲法違反の投票をやったということで、「私たちは憲法を守ってやっているのに、他の州が憲法違反をしたために大統領選挙の行方がひっくり返り、私たちが望んでいない人がなってしまうのなら、私たちは損害を被っているのだから、この問題を解決してくれ」と連邦の高裁に上げているんです。州と州は対等なので、州の間の争い事は連邦の高裁で第 1 審から受け付ける。

そのように訴えられているのが 5 州ありますが、全部足すと選挙人は 62 人になるんです。今バイデンが 306 人と言われています。60 引いたら 244。270 以上ないと大統領になれないんですよ。ということは、連邦高裁がそれを受理したら、バイデンもトランプも両方共、選挙人では決まらない。

そうすると来年1月上旬、下院で決まる。その場合、トランプ大統領が優勢なので、大逆転になる可能性があるとも言われています。ここでもう、これでやめるんです。私は。

そういうことを個人チャンネルで言っていると、コメントやメールが、もうバーツと入って来るんですね。「お前、どこの国民や?」「口角泡飛ばして熱烈にやるのはいいけど、アメリカ大統領の投票権持つてるんか?所詮、他の国の政治家の問題ちゃうん?他の国のことは、その国民に任せとけよ。」
「あなたはあなた、私は私。日本人にとって1番大事なことは、アメリカ大統領がどっちになっても、日本としてどうするのかを考えることで、いつまで他の大統領のことで、それもカリカリ来て、そして回数稼いでんねん」ってイヤらしい言い方や、それ。

もちろん、仰っている意味分かるんですけど、私、そういう観点でやってるんじゃないんです。もっと別の観点で見てるんです。アメリカで起こることは日本でも起こるということですよ。アメリカで不正選挙を起こすことが出来るということは、日本でもそれが出来るということですよね。アメリカで起こることは日本でも起こる。
民主主義国の体制を、民主主義の手法を使って覆すことが出来るかどうかの実験じゃないんですか?

黙示録をみると、やがて世界は1人の独裁者が全人類を、そのとき何十億人になっているか分からないけど、コントロールする独裁専制政治の時代に入ります。でも、一旦民主主義を経験した国が、それを手放すなんて考えられない、と皆思うでしょ?
ただアメリカは、どこの国よりも民主主義を大事にしている国じゃないんですか?
しかも、アメリカ大統領は74億人の人間の中で1番権力があるわけでしょ。

でも、現職大統領でどんなに権力がある者でも、議会の中にそれを取り合わない者がいたり、部下の中に裏切者がおったり、裁判所が門前払いしたり、マスコミが一切知らせない、というようにガッチリ固めて行ったら、現職の大統領であったとしても、政治生命を終わらせることが出来る…かもしれない。とするなら、もし今アメリカで起こっているような事があったとき、私たちのような一般庶民は自分の信じているところ・自分の主張を、どこに持って行って述べる事が出来ますか?

民主主義の手法を使って民主主義が壊されて行くという、ある意味壮大な実験と見る事が出来るし、これはもう、トランプかバイデンかということ以上に、この時代のシステムがいつまでもつか、今民主主義が立つか倒れるかという、そんな観点で見たとき他人事に思えない。
すぐそこには、黙示録の時代が近づいているのではないか。
そんな気がするわけで、どうしてもそこから目を離すことが出来ないのです

これから世界がどんな状態に入っていくかについて、今まで黙示録を順々に見て来ましたが、いよいよ10章。今日は1回で10章を全部終わりますので、一緒に考えたいと思います。

まず復習です。人類は輪廻思想のようにぐるぐる回るのではなく、終末のゴールに向かって突き進んでいます。やがて歴史上最も悲惨な時代に入ります。聖書はそれを“終わりの時代・苦難の時代”、或いは聖書には出て来ない言葉ですが“患難時代”と言います。

患難時代は7年間続き、前半3年半と後半3年半に分けられ、黙示録ではこれを3つの区分に分けています。前半の前半を7つの封印時代。前半の後半が7つのラッパ時代。全体の後半が7つの鉢の時代。

前半の前半では6つの封印が開かれて、7番目の封印を開くと7つのラッパが出て来る。
そして、7番目のラッパが吹かれると7つの鉢が出て来る。と流れて行きます。

黙示録は基本的に時系列で書かれていて、書かれている順番に事件が進展して行きますが、4回だけ挿入があるんです。挿入とは物語を一旦中断して、これから説明することの予備知識・補足説明を先に入れておくんですね。その説明を前もって知識として持っておくことによって、次に進展したとき、全像が分かりやすくなるんです。この挿入箇所が4回出て来ます。

今日見る黙示録10章1節～14節までは2回目の挿入で、これから進展して行く内容の補足説明です。黙示録の患難時代のクライマックスは後半の3年半です。特に10章～14章がすごく大事なものは、後半の3年半を理解するために、前もって登場人物の意味を詳しく説明しているんですね。

10章の前に9章があったんですが、9章には何が出て来たかという、ひと言で言うと悪霊の働き。9章の前半はイナゴの大群の形をした悪霊が人間を苦しめる様子。9章の後半は馬にまたがった騎兵のような、動物と人間がミックスしたような形の非常におぞましい姿の悪霊が、その時代に生き残っている人類の1/3を殺す記述が出て来ます。だから9章全体をひと言で言うならば、悪霊が大暴れする章。悪霊が地上の人間をめちゃくちゃに苦しめる章。これが9章。

その次の10章は、打って変わって御使いの章なんです。悪霊ではなく神の天使、御使いとよく言われている天使が登場する。しかも、その天使は別格。恐らくミカエルという天使です。別格で非常に神々しい姿で登場して、ヨハネに終末預言を授けます。そして、終末預言のエッセンスとも言うべき小さな巻物を「食べなさい」と言って食べさせる、というところで終わります。

今日は10章を3つの観点で考えたいと思います。その前に“御使い”。

黙示録10:1 また私は、もう一人の強い御使いが、雲に包まれて天から下って来るのを見た。
御使いは天使のことで、天使は霊的存在です。

私は『ごうちゃんねる』という個人チャンネルをさせていただいているのですが、毎回コメントに妙なコメントが入る。毎回。「高原さん、オーブが飛んでる。」オーブってわかりますか？Orb。英語です。宝玉と書いてオーブ。つまり「高原さん、あなたの周りに妖精が飛んでる。」「あなたの周りに白い霊が飛び交っている。やはり祝福されているんですね」みたいな。「えー？」と思って。私、コメント返さないけど、どうしても返して欲しいということで、何分何秒に出たかを打って来る。「このときは、右斜め上から左斜め下に遮って行った」言うて。「オーブが出た！オーブ！オーブ！」

私も見たら確かにシャッ！あれはね、オーブじゃない。埃や。正確に言うと、私は寒がりなので、家でもウルトラライトダウンを着て収録することが多いのですが、古いもんで羽毛がはみ出して、部屋の空間を漂っているのです。

しかも収録は一眼レフカメラではなく、なんとiPhoneでやってるんですね。iPhoneのレンズは直径1センチです。直径1センチの前を埃がシュッと遮ると、オーブが飛んだように見えるんですね。こういう“たまゆら”とか言って、時々心靈写真を送ってくださる方がいるのですが、空気中の水蒸気や微粒子などが後方攪乱して、映像に焼き込まれることがあるんですね。科学的に言うとそうだと思いますよ。だけど、心靈現象大好きな人は「オーブです。妖精です。」

私は、何でもかんでも霊に結びつけることに対してすごく抵抗感があります。というか、そういったものは信じません。そういうものを暴いていく色々な番組がありますが、私は「やれやれ！」と言って見る方ですよ。何でもかんでも「霊が見える。」「霊的なことだ。」「霊だ。霊だ。」これは、とてもじゃないけど受け入れることが出来ない。でも、だからといって、霊的なものが一切無いとは思ってません。

聖書は霊的存在について非常に詳しく語っています。まず、私たちを造られた創造主なる神様は、物質ではなく霊的な存在です。そして、神様は私たち人間を、その体の中に霊を持つ者・神と交わる機能を持つ者として造ってくださった。だから、人間の体の中には霊というものがあつた。それだけではなく、神様はご自分に仕えるしもべとして、御使いという霊的存在を造ったんですね。

但し、この御使いには良い御使いと悪い御使いがいるんです。良い御使いは神に反逆しなかった、造られたときのままの御使い。悪い御使いは、良きものとして造られていながら、自由意思によって神に対して反逆した御使い。その頭（かしら）がサタンになりました。サタンに従った御使いたちが悪霊。

何でもかんでも「霊だ。」「悪霊だ」と言うつもりはないけど、霊的なおかしい現象や、霊的に本当に当たる占いとか、そういう気持ちの悪いことが実際にあるんですね。ですから、霊的だと言って何でも信じるのは非常に注意しなければならないのですが、それをちょっと頭に入れて、黙示録 10 章を 3 つのポイントでお話したいと思います。

1) この世界の背後に霊的闘争/戦いがある。

黙示録 10:1 また私は、もう一人の強い御使いが、雲に包まれて天から下って来るのを見た。その頭上には虹があり、その顔は太陽のよう、その足は火の柱のようで、

またとは、次の幻・次の話題に変わったということです。だから 9 章の続きというよりも、別のトピックが扱われているということですね。

雲に包まれて天から下って来る。これはキリストの地上再臨の光景を彷彿させるから、ここの強い御使いはイエス・キリストのことだと思ってはなりません。これは御使いなんです。

というのは、もう一人という言葉はギリシア語でアロス。これは同質にして異なるものを表します。

10 章の前に、強い御使いが何回か登場しています。ラッパを吹く御使いも登場しています。今までに登場した強い御使いと同質だけど別人の御使いが、雲に包まれて天から下って来るのを見た。その姿は実に神々しくて、その頭上には虹があり、その顔は太陽のよう、その足は火の柱のようで、特に特徴が 2 節に出て来ます。

黙示録 10:2-3

2. 手には小さな巻物を持っていた。御使いは右足を海の上、左足を地の上に置いて、
3. 獅子が吠えるように大声で叫んだ。彼が叫んだとき、七つの雷がそれぞれの声を発した。

手には小さな巻物を持って、右足を海の上、左足を地の上に置いている。これは何を意味するのか？ヨハネが黙示録を教えられているこの時点よりも 600 年前に書かれたダニエル書の中に、よく似た描写が出て来るんです。

ダニエル書は今から 2500-2600 年前に書かれたのですが、『旧約聖書の黙示録』とも言うべく、終末預言に対して非常に詳しく語られている預言書です。では、[ダニエル書 10 章](#)。黙示録も 10 章。

ダニエル書 10 章はいつ書かれたかという、日付が書いてありますね。

[ダニエル 10:1](#) ペルシアの王キュロスの第三年に、ペルテシャツアルと名づけられていたダニエルに、あることばが示された。そのことばは真実で、大きな戦（いくさ）のことであった。彼はそのことばを理解し、その幻について悟った。

いつ書かれたのか？ [ペルシアの王キュロスの第三年](#)。西暦で BC536 年。戦は最終的な患難時代の戦です。だから [10 章から 12 章](#)まで、この終末に至るまでのユダヤ民族に関わる終末預言が語られていきます。

ところで、[ペルシアの王キュロス](#)。前にも何回か紹介したことがあります。ユダヤ人にとってメチャクチャ恩人の王様なんです。ペルシアは今のイランですよ。

どんな恩人かという、ユダヤ人はバビロンという国に滅ぼされて、神殿は炎上し、国民は捕虜となってバビロンに引っ張って行かれました。国が消滅したんです。ユダヤの国を滅ぼしたバビロンを滅ぼしてくれた王様が [ペルシアの王キュロス](#)。

しかも、バビロンを滅ぼしただけでなく、その後ユダヤ人に向かって「あなた方はエルサレムに戻って、神殿を建てていいですよ」と許可を与えた王様なんです。

「あなた方はこの異邦の地で繋がれている必要はない。自発的に帰りたい者はエルサレムに戻って神殿を建て直し、先祖たちが拝んでいた神をそこで礼拝してもいいですよ」という命令を出してくれた王様。ユダヤ人にとって、ものすごく親ユダヤ。

実は、トランプ大統領は“現代のキュロス”と言われているんですよ。ほんまにクリスチャンかは分からへん。少なくとも大統領になったときはクリスチャンじゃない。

というのは、いわゆる福音派と言われている人たちが彼に聞いたそうです。「あなたは今まで、神の前に罪を告白したことがありますか？」そしたら「罪?!俺が？」と言ったそうです。

これは CNN が言ってるんじゃないですよ。福音派の人が言っている。CNN はムチャクチャ言うから。

クリスチャンは少なくとも、自分が罪人であると分かっているんです。自分が罪人だと分かっていると、罪の赦しの必要性を感じないからイエス・キリストを信じないんですよ。

「俺が罪人？どの罪？」だから、その時点では彼はクリスチャンではなかったと思いますが、キュロスはユダヤ教とか真の神を信じているわけではないけど、イスラエルに対して非常に親イスラエル政策を取ったので、“現代のキュロス/トランプ”と言う人もいます。

キュロス王が「エルサレムに戻って、神殿を建てていいんだよ」と言ったとき、実際に帰った人は 5 万人くらい。殆ど帰らなかった。バビロンの方が・ペルシアの方が、居心地が良かったんですね。

帰って行った人たちも、横やりが入ったり、妨害が入ったりで中々神殿建設が進まない。

そんな中、やきもきしていたダニエルは [キュロスの第三年](#)に神に向かって祈るんです。

「神よ。どうぞユダヤ人たちの帰還を祝福して、神殿が建てられるように助けてください。」

どれくらい祈ったのか。

[3. 満三週間、ごちそうも食べず、肉もぶどう酒も口にせず、また身に油も塗らなかつた。](#)

3 週間断食して、イスラエルの回復のために祈りました。

4. 第一の月の二十四日に、私はティグリスという大きな川の岸にいた。

第一の月の二十四日。これは過越しの祭りと初穂の祭りが終わる頃です。祭りの間中、ダニエルはイスラエルの回復を一生懸命に祈っていました。

5. 私は目を上げた。見ると、そこに一人の人がいて、亜麻布の衣をまとい、腰にウファズの金の帯を締めていた。

神々しい姿の御使いを見た時、彼は卒倒して、脱力して、もうへなへなになってしまいました。

このへなへな状態の彼を励ますために、これとは別の御使いが現れて、

12. 彼は私に言った。「恐れるな、ダニエル。あなたが心を定めて、悟りを得ようとし、自分の神の前で自らを戒めようとしたその最初の日から、あなたのことばは聞かれている。私が来たのは、あなたのことばのためだ。」

ダニエルは3週間祈った。その最初の日から、あなたの祈りは神に届いている。聞かれている。それで、すぐにあなたの所に行って、終末預言を知らせることで、あなたを奮い立たせようとしたんだが、ここに来るのにずいぶん時間が掛かって手間取ってしまった。

遅れたのには理由がある。

13. 「ペルシアの国の君（きみ）が二十一日間（3週間）、私に対峙して立っていたが、そこに最高位の君の一人ミカエルが私を助けに来てくれた。私がペルシアの王たちのところに残されていたからだ。」

この御使いはダニエルの所に行こうとしたけど、通せんぼするペルシアの国の君がいた。「コイツが立ち足はだかっていたので、私はすぐにあなたの所に来ることが出来なかったが、私に変わって最高位の君の一人ミカエル（御使いの頭/かしら）が助っ人に来てくれて、私に変わってペルシアの国の君と相対してくれたので、私はあなたの所に来ることが出来た。」

ペルシアの国の君は人間ではありません。サタンの使いです。

聖書を見ると、神様は全ての国・全ての民族のために御使いを遣わして守っています。その国を善に導くために、その国のユダヤ人たちが迫害されないよう守るために御使いを遣わしている。また、その国で働いている信仰者たちの働きを守るために、それぞれの国に御使いを遣わしています。

ところが、悪魔/サタンもそれに対抗するために、自分の手下たちを配置してるんです。サタンもまた全ての国・全ての民族に、自分の部下である悪霊の実力者たちを派遣して、その国を悪に導こう・その国のユダヤ人迫害を起こさせよう・その国の信者を滅ぼそうと働きかけるのですね。

20. すると彼は言った。「私がなぜあなたのところに来たか、知っているか。今、私はペルシアの君と戦うために帰って行く。私が去ると、見よ、ギリシアの君がやって来る。」

ダニエルに言うだけ言うたら、「私はすぐにペルシアの君のところへ帰って行く」と。そして、ペルシアの君をミカエルと一緒に倒す。そうしたら、次に興る国が出て来る。それはギリシア。ギリシアの君がやって来るというのは、ペルシアが倒れた後、ギリシアが急に強くなって世界制覇をし

ますが、それはギリシアの国そのものに実力があるというよりも、それもあるけど、ギリシアに派遣されている悪の霊の力で、小さな国が突然巨大化して強くなって行く。

21. 「しかし、真理の書に記されていることを、あなたに知らせよう。私とともに奮い立って、彼ら（ペルシアの国の君とギリシアの国の君）に立ち向かう者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはいない。」

真理の書は聖書ではありません。聖書は真理の書の抜粋なんです。神の御心の全部がここ（*聖書）に書いてあるわけではないんですね。黙示録にもまた出て来るんですけど。

ダニエル 11:1 「私（この御使い）はその彼（ミカエル）を強くし、かづけるために、メディア人ダレイオスの元年に立ち上がった。」

今のこの時点はペルシアのキュロス王の第3年です。メディア人ダレイオスの元年とは、この時点から考えて2年前のこと。つまり11章1節は、2年前にこの御使いがミカエルとタッグを組んでやったことを語っているんですよ。

では、2年前のBC538年に何が起こったのか？バビロンが倒されて、メディア・ペルシアの時代になった。バビロンは無傷の状態で倒されてしまうんですが、倒したのはペルシアの王キュロスです。ここではメディア人ダレイオスと書いてあるでしょ。

キュロスのお父さんはペルシア人の王。お母さんはメディア王女。だから、ペルシアのロイヤルファミリーとメディアのロイヤルファミリーのハーフ。キュロスは父方の王家のタイトルを選んでペルシアの初代王になりますが、彼がデビューした時はメディアの一地方に過ぎなかったんです。メディアの方が非常に大きくて、ペルシアは一つの小さな小さな国でしかなかった。なので、キュロスがバビロンを倒すときペルシアの王として戦うけど、軍人たちはメディア兵でした。メディア兵の戦力を使ってバビロンを滅ぼした。そのとき、自分がバビロンに入って「俺がやった！」とやると、メディア人たちの印象悪いですよ。そこで、先頭切って戦ったのはキュロスだったけど、メディア人ダレイオスに花を持たせたんです。

メディア人ダレイオスはキュロスの母マンダネの弟。だから「叔父さん、どうぞ。倒したのは僕なんですけど～。いやいや、それはどうでもいい話で。叔父さん、どうぞ！」花を持たせた。だから、メディア人ダレイオスの元年はキュロスの元年と一緒にです。キュロスはペルシアに帰り、ダレイオスはバビロニア帝国の首都だったバビロンにそのまま住みました。ということ、ここで言っているのです。

なぜ、あんな大きなバビロンが一夜にして崩壊したのか？そして崩壊した後で、それを滅ぼしたキュロスもダレイオスも親ユダヤ政策を取って「エルサレムに帰っていいよ」と言ったのか？「この戦いの背後にミカエルと私が、（バビロンの国の君は出て来ないけど）、霊的に目に見えない世界で戦ったから、地上の国が滅んだ」と言っているんです。

つまり、「今日に見えている世界の動きの背後に、目に見えない世界の霊的な戦いがあるのだ。私は2年前にミカエルを強くし力づけて、メディア人ダレイオスの元年に立ち上がった。その結果、バビロンが倒れ、ユダヤ人はエルサレムに戻る事が出来るようになった。」

さて、先程の神々しい御使い、[ダニエル書 12 章](#)を見ます。

5. 私ダニエルが見ていると、見よ、二人の人が立っていた。一人は川のこちら岸に、もう一人は川の向こう岸にいた。

6. その一人が、川の水の上にいる、あの垂麻布の衣を着た人に言った。「この不思議なことは、いつになると終わるのですか。」

この川は、色んな注解書を見るとユーフラテス川だと言うんです。

川の水の上に、あちら側とこちら側に1人ずつ御使いが立っている。これは証人でしょうね。

2人の証言の下で、その証言が真実であることが明らかになるということです。

7. すると私は、川の水の上にいる、あの垂麻布の衣を着た人が語るのを聞いた。彼はその右手と左手を天に向けて上げ、永遠に生きる方にかけて誓った。「それは、一時（ひととき）と二時（ふたとき）と半時（はんととき）である。聖なる民の力を打ち砕くことが終わるとき、これらすべてのことが成就する。」

川の水の上にいる者が川をコントロールしている、ということなんですね。

12章まで、色んな戦争の事が預言されているのですが、「いつになると終わるのですか。」

一時と二時と半時。これを全部足すと $1+2+0.5$ で3年半です。

聖なる民とはユダヤ人。ユダヤ人の力を打ち砕くための後半3年半。

「ユダヤ人たちが自分の力では正しい者とされないのだ」と打ち砕かれるために、患難時代の後半3年半があるのだと言うんです。

これがユーフラテス川というのは「なるほどな」と。チグリス・ユーフラテス川とよく言いますね。

バビロニア帝国の首都がバビロンで、その中をユーフラテス川が流れている。

その後ペルシアが政権を取りますが、バビロンが残した大きな二重城壁のバビロンという町をそのまま継続使用します。

ペルシアが滅んだ後、アレキサンドロスのギリシアが出て来ますが、彼もバビロンが戦略的にあまりにも重要な場所にあり、完成された都市なので、そのまま継続使用します。

マケドニアを首都にしていない。アレキサンドロスの首都はバビロン。

ギリシアは4つの国に分かれますが、最終的に決勝戦で北と南が残りました。

北はセレウコス朝シリア。南はプトレマイオス朝エジプト。プトレマイオス朝エジプトの最後の王様は女性でクレオパトラです。シーザーの愛人。クレオパトラはエジプト人ではなくギリシア人なんですよ。

そして、セレウコス朝シリアとプトレマイオス朝エジプトの国境はユーフラテス川です。

次がローマ。1番東のボーダーはユーフラテス川です。そこより先に勢力を伸ばすことが出来なかった。

つまり、この川の水の上にいる、ユーフラテス川をコントロールすることが、この時代からAD70年にユダヤ人たちが散らされるまで、非常に大きな役割を果たす場所になっているんです。

それを頭に入れながら、もう1度[黙示録](#)に戻ります。

[黙示録 10:2](#) 御使いは右足を海の上、左足を地の上に置いて、

先程は川の水の上にいるんですね。ここでは海と地の上に両足を置いている。これは全世界です。

中東に限定された戦争ではない。世界中にわたって、大きな患難が臨むんですね。

9 章ではイナゴの大群のように見える悪霊の大群とか、騎馬兵のような悪霊の大群が人間にめちゃくちゃなことをやりますが、彼らがいかに大暴れしようが、本当の意味で海と地をコントロールしているのは、神が遣わした御使である。どんなに酷いことが起こったとしても、神の主権の下でコントロールされている、ということを語っていると思います。

私はこれを思う時、なぜ聖書預言が大事なのかを考えるんです。

今の世の中のことを知ろうと思って、今日に見える情報ばかりを集めていても、結局読めないんですね。現実世界で起こっていることは目に見えない霊的世界の戦いの反映であることを考えると、目に見えない世界の戦いは、どこに向かって行っているのか？

聖書を学んで、尚且つ世の中の情報を分析することによって、初めて時代を読むことが出来る。

歴史が動いているのではなく、歴史は患難時代に向かって刻一刻と進んでいる。

というのが聖書が語っていることです。これが第1のポイント。

2) 黙示録 10:8-10

8. それから、前に天から聞こえた声が、再び私に語りかけた。「行って、海の上と地の上に立っている御使いの手にある、開かれた巻物を受け取りなさい。」

9. 私はその御使いのところに行き、「私にその巻物を下さい」と言った。すると彼は言った。「それを取って食べてしまいなさい。それはあなたの腹には苦いが、あなたの口には蜜のように甘い。」

10. そこで、私はその小さな巻物を御使いの手から受け取って食べた。口には蜜のように甘かったが、それを食べてしまうと、私の腹は苦くなった。

口当たりはいいけど、後で痛くなるものって嫌じゃないですか。私は10年くらい前、胆嚢の手術をしました。肉が大好きなんですけど、肉を食べると数時間後に七転八倒。どこが痛いかというのみぞおち。胆嚢は右下にあります。でもみぞおちが痛いから「胃潰瘍に違いない」と思って、素人判断で胃薬ばかり飲んでたんです。でも、飲んで飲んで全然良くなりません。

美味しい肉って霜降りじゃないですか。霜降りって自分じゃ買わない。よそに招かれたときにごちそうで出て来る。「高原さん、どうぞ！」つい、霜降りバツと食べるでしょ。数時間後、七転八倒。皆さんは私を講演者として呼んでるけど、講演時間になっても「あ～痛いっ！パス！」って、何のために呼んだか分からへん。招かれてはぶっ倒れ、招かれてはぶっ倒れ。とうとう、ある土曜日の夜にごちそうを頂いた後、一睡も出来なかった。もう我慢出来ない。

そしたら、そこの教会に女医さんがおられて、朝5時くらいに来てくれはったんです。そして手を当てながら「高原さん、これ胆嚢ですよ。これ、もう切ってもらった方がいいんじゃないですか。」

胆嚢は右下。痛いのはみぞおち。「胆嚢は自分から離れた所に痛みを出すんですよ。これ胆嚢ですよ。」でね、切ってもらいました。胆嚢。あんだけ苦しい目に遭わした胆嚢だけど、別れるとなったらちょっと可哀想な気がして、「胆ちゃん」とか名前を呼んでいるうちに情が移って「お前には世話になったな。」それ取って以来、ナニ食っても大丈夫や。霜降り、どうぞってね。口にいいけど、食べた後で腹に苦い。

聖書預言は、分かんるとこんなに楽しいものはない。聖書って分かんないと「つまらないな。面白くないな」と思うのですが、聖書が語っていることが一旦分かり出すと、こんなに興味深いものはありません。特に終末預言は分かれば分かるほど、今自分が生きる指針となり、また、ずれてるのかずれてないのか、どのように生きて行ったらいいのか、色んなことを教えられますよね。

こんなに愉快なものはないと私は思っています。

しかし同時に、“食べた後で腹には苦い”と書いてあるんです。腹はギリシア語でコイリア。これは胃を表すときもあるし、子宮や腹部の中身を表すこともある。要するに内臓です。古代ヘブル人は内臓、特に腎臓を“心”と訳したりしていて、この言葉が70人訳ギリシア語聖書で“心”と訳されている部分があるんですね。つまり、腹には苦いというのは“心が痛い”。

終末預言がよく理解出来て、これから世界がどんなに酷いところに堕ちて行くのかが分かれば分かるほど、自分の愛する人たちがまだキリストを信じておらず、救いに与っていないことを考えると心が痛い。

なぜ神はヨハネに、口に良くて腹に苦いようなものを「食べよ」と言われたのか？
神ご自身もそのようなお方だからと思うんです。この裁きのことを語るとき、神は心地良さそうに語っておられるのではない。神は全ての人々が悔い改めて、真理を知るようになるのを求めておられる、と書いてあるんですね。

神は悪者・罪人が滅びるのを喜ばない。1人も滅びることなく永遠の命を持ってもらいたい、という思いで神は語っておられるのです。神の言葉を食べてそうだったというのは、その言葉を発した方ご自身が、反逆する罪人に対して憐み深い神であることの証拠だと思えます。

『ざっくり黙示録』を今まで語って来たのも、動機はそれしかないです。言葉はすぐに届きませんね。昔、先生や恩師や親に言われた言葉を、10年も20年も30年も経って、それが分かるような体験をして「ああ、そういう意味だったんだ」と分かったとき、意味が届いてますよね。聞いたときに意味が届くのではなく、後になってから「そうだった！」と分かることがあります。今ピンと来なくても、やがて時代が聖書の言葉を立証します。私の説得力が弱くても、全知全能の神が、この言葉の真実性を証言してくださると思うんですよね。なので「伝えておくことが必要だよ」ということで、宣べ伝えさせていただいているわけでありませう。

3) 時について。黙示録 10:5-7

5. それから、海の上と地の上に立っているのを私が見たあの御使いは、右手を天に上げ、
6. 天とそこにあるもの、地とそこにあるもの、海とそこにあるものを造って、世々限りなく生きておられる方にかけて誓った。「もはや時は残されておらず、
7. 第七の御使いが吹こうとしているラッパの音が響くその日に、神の奥義は、神がご自分のしもべである預言者たちに告げたとおりに実現する。」

いよいよ、ここから後半3年半の大患難時代の幕開けです。

6. もはや時は残されておらず。時という言葉、ギリシア語には2種類あります。

①クロノス/時間。年代記をクロニクルと言いますね。正確なゼンマイ仕掛けの時計はクロノメーター。時間を同期して同じ動作をする競技シンクロナイズド・スイミングの“クロ”はクロノスから来ています。クロノスは1時間とか2時間とかの時間・長さを表すんです。

もはや時は残されておらずには、クロノスが使われています。もう、あと3年半しかない。

時間はいつまでも延々と続くのではない。輪廻のように果てしなく延びるのではない。

もはや時間は残っていない。締め切りがある。

“長くない”という言葉は、どんな立場で聞かかによって響きが違ふと思えます。

患難時代の只中で、キリストを信じて迫害を受けている人にとっては、もはや時が残されておらずというのは、辛い期間が間もなく終わるという意味です。

「いつまでこんな辛いことが続くんだろう…」辛いことが来ると、それが終わらずにいつまでも続くと思いやすいけど、終わらない苦しみはない。しかも、患難時代は期間が分かっているのです、この時代に生きている信仰者たちは、いつこれが終わるか勘定することが出来ます。

ここまで耐えたら終わる、ということを知っているわけですね。これは大きな励ましたと思います。

しかし、拒否している者・まだ受け入れていない者にとっては、時間がどんどん減って行くということは恐怖ですね。神の言葉が甘美になるかどうかは、救いを受け入れるかどうかで響き方が変わるのです。

②カイロス/チャンス。

クロノスもカイロスもギリシア神話に出て来ます。ギリシア人は言葉を説明するとき、神話の中で物語にして説明するんです。

カイロスは美少年。前髪が長い。目が隠れて見えにくいくらい長い。しかし後頭部はハゲ。しかも背中に翼が生えている。これはマヨネーズでお馴染みのキューピーです。キューピーは前髪がクルッとあるけど後ろはずるむけ、背中に翼。実はアイツ、キューピーじゃなくてカイロス。

カイロスは、時は時でもチャンスなんです。チャンスは、前から飛んでくるときは前髪という掴む物があるので、ギュッと掴んでグッと引き寄せたら自分のものになる。ところが過ぎ去ると、後ろは毛が生えてないからツルリンコン。しかも翼があるからパーッと行ってしまう。

つまり、チャンスは迎える時は捉えることが出来るけど、一旦過ぎ去ったら取り戻すことが出来ないという“時”。これがカイロス。

クロノスの間にカイロスが何度もやって来ます。しかし、クロノスそのものがいつまでも延びることはないんです。私たちは、今は救いの日・今は恵みの時・今がチャンス。

「患難時代になって、それがホンマやいうのを見てから」って、そんな甘い世界じゃないんです。今です。

聖書は私たちが怯えさせるために書かれたのではなく、救いを得させる神のことばだと書いてあるんですね。

いかがでしょうか。是非この機会を生かしてイエス・キリストを信じてくださいますように、心からお勧めして終えたいと思います。

~~~~~  
\* 動画は YouTube で「[HCA 東住吉キリスト集会](#)」

\* ラジオ番組「[聖書と福音](#)」(約 15 分) もどうぞ。YouTube もあります。

\* YouTube「[ごうちゃんねる](#)」もぜひ見てください。

動画筆記 : Rumi